



NO. 277

2016. 7. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町 12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10 円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

第3回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会 〔神奈川大会〕が開催されました (前編)

7月2日(土)から3日(日)にかけ、第3回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会〔神奈川大会〕が横浜市にて開催されました。今回は「誕生した大切な命だから 一人ひとり充実した一生を！」を大会テーマとして、全国からの参加者約2,500名が集い2日間の日程で行なわれました。大阪市育成会からは10名の会員、4名の職員、本人11名が参加しました。

今月号と来月号の2回にわたり大会レポートを掲載させていただきます。



第1分科会 「大切な命を授かって生まれる」 ～家族支援と本人支援のバランスを考える～ に参加して

東成区支部 (ふりーすぺーすSUN) 藤原 鈴子

第1分科会では、明星大学 人文学部 福祉実践学科教授の吉川かおり氏から「親の幸せ、子供の幸せ」をテーマに基調講演がありました。

冒頭、吉川先生から次の3つ問題提起がありました。

1. 生きにくさは、障がいのある人とその家族だけなのか？
2. 家族の責任はどこまでか？
3. 幸せの実感はどうやったらつかめるのか？

その後の講演の中では、これらの3つの問題に対し、解決していくためのお話がありました。

問題提起の1つ目の「生きにくさは、障がいのある人とその家族だけなのか？」という点については、「その人らしい暮らし」をキーワードに解説がありました。

暮らしの基盤は、全ての人にとって必要な事になります。それは豊かな生活体験(探る、遊ぶ、つくる、学ぶ、感じる、考える)をすることにより、自己肯定、自尊感情、生活スキル、見通しを持つことになり、これらを基に安心感や安全が得られることになります。しかし、これらが円滑になるのを妨げているものが「障がい」です。本人や家族を取り巻く環境が障がいを作るとも言われています。子どもに障がいがある事によって不安が大きい中、親業の学習として、障がいの対応スキルや自分の人生の意味づけについて学んでいきます。その手順としては、サービスと相談場所を利用しながら、幸せの再構築を図っていきます。次の段階として子離れの時期にさしかかると、自分の人生と子供の人生を考え「保護から見守りへ」のスタンスの変化への適応を図るようになります。アイデンティティの再構築(自分は何者か・何のた



なお、今回の大会では、わかたけ会支部の松本 太仁男さんが育成会に対する長年の功績を称えられ、全国手をつなぐ育成会連合会より感謝状の授与がありました。